

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

みんなで集い、盛り上げよう フェスタで深まる交流を

第7回埼玉学習センター学園祭

毎年行われている埼玉フェスタの季節がやってきました。今年も来る10月12日(土)～13日(日)の二日間フェスタが開催されます。このフェスタは、学生、同窓生、教職員が一体となって交流を深め、埼玉学習センターを楽しい学びの場にするために開催されているのです。

第1日目の12日(土)

9階第1講義室では、10時から熟年会の公開勉強会「連句を楽しもう」が、12時30分からサークルおみやのオペラ鑑賞会「ホフマン物語」が、15時からセンター主催の放送大学創立30周年特別企画「卒業生・在学生による放送大学の学びを語る会」が開催されます。

第2日目の13日(日)

8階講義室では、10時30分からソシアルダンスクラブによる「フォーメーションダンス・ルンバ、ワルツ」が、12時30分からはトレヴィイの会による「オカリナ演奏」が、14時から未来の会の「民話のお話 山椒大夫」が開催されます。

第2日目の13日(日)

第1講義室では、午前10時30分から朗読の会「朗読」が開催されます。



写真は、昨年のフェスタ茶席

講義室では、11時15分から健康体操研究会の「経

絡体操・ベリーダンス等」が、14時から放送大学創立30周年記念特別企画の公開講演会「登山の科学、スキーの科学」が講師岡部学長で開催されます。

すべてのイベントが終了した後、午後4時から講義室でフェスタ最大の目玉イベント、賛助券協力者による交流パーティーが開催されます。学長、学生、同窓生、教職員が一つテーブルを囲み、ドリンク片手に学びを語り、未来の夢を語り合うパーティーです。歌好きの方には今年もプロのアコーディオン奏者清水信治氏が伴奏して盛り上げてくれます。俳句・川柳大会入選者の表彰、豪華(?)賞品が当たる大抽選会も楽しみです。

二日間共通のイベントとして第2講義室では各サークルの団体活動の展示や未来の会の絵手紙教室、第3講義室では各団体によるバザー、第4・第5講義室においては、学生、同窓生、教職員の写真や絵画、工芸品等の個人作品の展示、9階ロビーの茶席コーナーで抹茶と和菓子のサービス、大会の投句、選句箱が置かれます。

卒業証書・学位記授与式

平成25年9月29日

(日)午前11時から、埼玉学習センター8F講義室において、平成25年度第1学期の卒業証書・学位記授与式が行われます。卒業生・修了生は82名で併せて生涯学習奨励賞の授与も行われます。なお、式終了後、祝賀会が予定されています。

【生涯学習奨励賞受賞者】

- ・金剛賞 大塚正信 笹原誠二
- ・金賞 山口真知子 菊池紀夫 高宮里江 今福佐喜男 宮本義昭 川野美代子 五十嵐健次郎
- ・銀賞 柳原光代 山口恵子 高橋三夫 奈良原忠 柳 由美
- ・銅賞 朝比奈啓右

【敬称略】

入学者の集い

平成25年度第2学期の入学者の集いは、10月5日(土)午後1時30分から埼玉学習センター8F講義室で開催されます。終了後には、例年通り学習相談、各サークル紹介などが行われます。

学生研修旅行

参加者募集中

今年度の学生研修旅行

探訪コーナー 北海道学習センター

北海道大学の門を入り銀杏並木を抜けた突き当りを右折して少し行くと木々の間に工学部の建物が目に入る。更にしばらく行くと左手に放送大学北海道学習センターの銀色に光る文字が目に入る。北海道大学はとにかく広い。木々達もゆつたりと下の方から枝を伸ばし、大らかに育っているように見える。それだけではない。学友会の行事をみると「北海道大学埋蔵文化財調査室見学」や「北大キャンパス散策」

は10月17日(木)に実施されます。「軽井沢の歴史とリゾート地としての現在」をテーマに軽井沢・旧軽井沢、浅間山と埋没した集落(鎌原)、八ツ場ダム広報センター等を見学します。

参加希望の方は、事務室までお申し込みください。参加者は、「学生教育研究災害傷害保険」への加入が必要です。募集人数は40名、先着順となっています。

インタビュー

田口和美さん



今回は、埼玉同窓会修得した単位は、A教養学部全部で70単位、大学院で80単位です。現任は、1学期間に、学部メラをもつて記録係としての活躍され、「学習の鉄人」とも言われる田口和美さんを紹介いたします。

秩父地域は2011年に全国で11番目の日本ジオパークに認定され、観光客も増加しています。そこで、これらの観光客に説明できるボランティアガイドの養成講座を、10月26日・27日の2日間開講します。参加希望の方は、事務室までお申し込みください。

秩父ジオパーク・ボランティアガイド養成講座

秩父地域は2011年に全国で11番目の日本ジオパークに認定され、観光客も増加しています。そこで、これらの観光客に説明できるボランティアガイドの養成講座を、10月26日・27日の2日間開講します。参加希望の方は、事務室までお申し込みください。

学生手帳

「防災野田」

この4月から、「防災と安全・安心な街づくり」を目指して、「防災野田」の無線放送が始まった。

登校日の午後3時には、小学校の下校時にあわせて「地域の皆様、毎日見守りありがとうございます」を守りありがとうございます。私たちはこれから下校します。私たちが無事家に着くまで、見守りをお願いいたします」とは、ききといた児童の放送が入る。午後6時には「夕焼け、小焼け」のメロディが流れて、子供たちの帰宅を促す。

この夏には、市の水道課から水道水の節水をお願い放送が毎日のように入り、警察署からは、高齢者や幼児の行方不明や迷子の捜査協力をお願いがその都度入ってくる。先日は6歳の幼児と82歳の老人が相次いで行方不明との放送が入り、わずか90分後には、「先ほど行方不明になっていた〇〇さんは無事保護されました。皆様のご協力ありがとうございました。皆様のご協力ありがとうございました。」との放送が入り、ほっと胸をなでおろしたのは私だけではないだろう。この放送が始まって以来、行方不明者や迷子が激減したらしい。

今日も午後4時頃になると、私の家の前を小学校の児童・生徒がわいわいと笑い声を上げながら通り過ぎていく。地域住民の係わり合いでこれなんだとしみじみと感じるとともに、午後3時の放送を心待ちにしている毎日である。

